



# クローバー

Clover



2022年12月発行  
編集・発行 君津中央病院  
☎0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



7階西病棟のスタッフ

## 理念

私たちは良質で安全な医療を提供し  
地域の皆さまに親しまれ、  
信頼される病院をめざします。



認定第JC295-4号  
一般病院2 (3rdG:ver.2.0)  
2019.8.23~2024.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が適切で質の高い医療を安心して享受できるように、医療機関の機能を学術的観点から評価する第三者機関です

## 基本方針

- 1 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

## 目次

医務局 整形外科	1	栄養サポートチーム	5
看護局 7階西病棟	2	君津中央病院附属看護学校	6
医務局 外科	3	Information	7
医療技術局 臨床検査科	4		

## 医務局 整形外科

### 骨粗しょう症による骨折の連鎖(ドミノ骨折)を防ごう！

#### 骨粗しょう症による脆弱(ぜいじゃく)性骨折

「骨粗しょう症」という病名はご存知な方も多いと思います。年齢とともに骨量の減少と骨質の劣化が起こることで骨の強度が低下し、骨折を簡単に起こしやすくなった状態をいいます。症状がないため気が付かず、骨折してはじめて知る方も多い病気です。この骨粗しょう症によって、軽微なけが(転倒やしりもち)で起こる骨折を「脆弱性骨折」といいます。代表的なものに背骨の骨折(脊椎圧迫骨折)、脚の付け根の骨折(大腿骨近位部骨折)、手首の骨折(橈骨遠位端骨折)、肩の骨折(上腕骨近位部骨折)があり、最近では

骨盤を骨折する方も多くみられます。また骨粗しょう症が重症になると、けがをしなくても日常生活の動作だけで骨折を起こすこともあり、「いつのまにか骨折」ともいわれています。



(日本整形外科学会HPより)

#### 骨折の連鎖(ドミノ骨折)

脆弱性骨折を起こす方は骨折を繰り返すことが多く、「骨折の連鎖(ドミノ骨折)」と呼ばれています。海外の研究結果では背骨を骨折すると、手首の骨折リスクは1.4倍、脚の付け根の骨折リスクは2.3倍、背骨の骨折リスクは4.4倍と報告されています。また脚の付け根の骨折をすると骨折から半年以内に約半数の方が反対側の骨折を生じるという国内の報告もあります。この脆弱性骨折を起こすと治療を行っても日常生活動作に制限が残り、生活の質(QOL)の低下を起こします。さらに脚の付け根の骨折や背骨の骨折は死亡リスクを高めることが知られており、命にかかわる問題とも言えます。

#### 予防と治療

骨折を繰り返さないためにも、脆弱性骨折を起こしたら骨折予防のための治療が必要です。具体的には、①骨粗しょう症の薬物治療、②運動療法、③食事療法、④転倒予防になります。薬物治療は骨折抑制効果が証明されており、さまざまな治療薬から患者さまの状態に合わせて選択します。運動により筋力の回復、体力を向上させ、骨の萎縮を防ぎ転倒を予防します。食事も大切でありカルシウムやビタミンD、ビタミンK、タンパク質を含む食品をとるように心がけてください。また転倒予防として杖の使用や手すりやベッド、椅子の使用、バリアフリーなど生活環境を改善することで転びにくい環境を作る必要があります。



(日本整形外科学会HPより)

(整形外科部長 大塚 誠)

## 看護局 7階西病棟

### 骨粗しょう症治療の重要性について



7階西病棟は整形外科37床、形成外科3床、歯科・口腔外科3床、膠原病内科5床の計48床の混合病棟です。当病棟では「骨粗鬆症ガイド～骨折しないための予防法～」を作成し、大腿骨頸部骨折・転子部骨折術後の患者さまやご家族さまに骨粗鬆症治療の継続について説明させていただいています。この場を借りて、骨粗鬆症治療継続の重要性についてお伝えしたいと思います。

大腿骨頸部骨折・転子部骨折は受傷をきっかけに廃用症候群(長期にわたり安静を強いられることで身体能力の低下や認知機能障害などをもたらすこと)になり、なかには寝たきりになってしまう方もいます。そして私たちは実際にそのような方を看ています。骨折の治療は基本的に手術治療が第一選択です。手術後順調に経過される方が大半ではありますが、リハビリ継続のために転院されるケースがほとんどであり、受傷をきっかけに住み慣れた家になかなか帰れない、新型コロナウイルス感染症に伴う面会制限により家族に会うことすらできないなど、様々な制限に苦しむ方も多いです。そのような方を看護させていただくなかで、骨粗鬆症についてこれまで以上に関心を持っていただけたらと切に願います。

骨粗鬆症の治療は薬物療法、食事療法、運動療法をバランスよく行うことが基本です。薬物療法に用いられる治療薬には主に骨の吸収を抑制する薬、骨の形成を助ける薬、カルシウムの吸収を促す薬があります。これらの薬剤の中から患者さまの状態に合わせた治療薬が選択されます。また食事療法ではカルシウム、ビタミンD、ビタミンKを多く含む食品を摂るようにしていただきます。運動療法では骨強度を高めるために歩行訓練や筋力トレーニングなどを行います。運動は痛みのない範囲で無理なく続けていただけたらと思います。

骨粗鬆症と診断を受けていなくても、骨密度測定などの検査を定期的に受けていただくことも重要です。特に骨粗鬆症のリスクが高い閉経後の女性は、積極的に定期健診を受ける必要があります。

骨粗鬆症の予防と治療をしっかりと行うことで、大腿骨頸部骨折・転子部骨折の予防に努めていただけたらと思います。また、受傷原因の多くは立位時や歩行時の転倒です。そのため、日頃からつまづきや転倒を防ぐために、家のなかの環境を整えておくことが大切です。なお、対象となる方のご家族さまは、何とぞその方のサポート(受診や治療継続の援助、生活環境の確認など)をお願いいたします。

当院では人間ドック受診時にオプションで骨密度検査を行っています。  
クローバーをご覧になり、気になった方はお問い合わせ下さい。

(7階西病棟 山本 百合香)

【ご予約・お問い合わせ】 人間ドック ▶ 0438-36-1071代  
【受付時間】 平日 10:00~16:00

## 医務局 外科

### コロナ禍によるがん治療への影響について



2020年に新型コロナウイルスの蔓延が始まり、3年目に入っています。コロナウイルス患者の増加により、通常診療を制限しなければならなくなる事態が度々起きていることは医療逼迫としてニュースで報道されているので、一般によく知られています。そのような医療逼迫とは別に、がん患者の治療に影響を与えている別の問題点も生じています。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、がん検診を始め各種健診が一時的に中断されたことに加え、受診控えや通院控えなどで、健診受診者、通院者が減り、その結果、がんの診断数が減りました。日本対がん協会の行ったアンケート報告によると、5大がん(胃、大腸、肺、乳、子宮頸)の診断数は、2020年は8万660件で、2019年の8万8,814件より8,154件(9.2%)少なく、治療数も減っていました。がんに罹患する人の割合はほぼ変わらないと考えられるため、コロナ前と同じように健診や通院ができていれば発見できたがんが約9%あったと推測されます。

特に早期がんの減少が顕著で、進行がんでは差は少なかったため、今後は進行がんの増加が懸念されて、将来的には死亡率の増加する恐れもあります。実際に当科においても高度に進行したがん症例がコロナ禍以降は増えています。

今後もコロナ禍は続くと考えられますが、当院では適切な感染予防対策を行いつつ、必要な検査や治療を遅れることなく行うことで、患者さまが安心してがん治療が受けられるように心がけています。

当院は医療過疎の房総半島で、君津医療圏で唯一の地域がん診療連携拠点病院です。外科はヘルニア、虫垂炎から胃・大腸癌・乳癌・肝胆膵領域癌・食道癌の手術まで、外科医14人で対応しています。また当院は3次救急病院でもあるため、消化管穿孔や腹部外傷など緊急手術症例も積極的に受け入れています。年間手術症例数は約900～1,000例程で、このうち緊急手術は200～250件程度です。

当院が受けなければ患者さまは行き場を失うという思いから、基本的には全ての患者さまを受け入れるという方針で頑張っています。ここ数年は新型コロナウイルスの蔓延のため、診療制限を余儀なくされた時期もありますが2021年の手術数は899件、緊急手術数は231件で、緊急手術は前年と比べむしろ数例ですが増加しており、コロナ禍にあっても地域の中核病院として3次救急を担う役割は果たせていたと思います。

(外科部長 片岡 雅章)



## 医療技術局 臨床検査科

### ～精度管理について～

病院を受診した方ならきっと血液や尿を採った経験があると思います。

臨床検査科では、患者さまから採取した血液や尿などの材料をたくさんの分析装置にかけて、病気の診断や治療に必要ないろいろなデータを提供しています。ただ単に材料を機械にセットしているだけではありません。患者さまの材料を測定する前にコントロールと呼ばれる濃度がわかっている試料を測定して、その値が定められた範囲内にあることを確認します。もし範囲内でない場合は結果に信頼性がないので原因を分析し、定められた範囲に収まるように対処します。そうして初めて患者さまの材料を測定できるのです。

私たちは常に正しい結果が得られるように機械のメンテナンスや測定方法について研鑽を積んでいます。このように正しい結果が得られるように、その行程を管理することを精度管理といいます。

毎日のコントロール測定や機械のメンテナンスはもちろんですが、当院では日本医師会・日本臨床衛生検査技師会・千葉県臨床衛生検査技師会が主催する精度管理調査にも参加して他の病院の検査結果とも比較しています。これは多数の病院で同一検体を測定してそのデータを分析するもので、当院はいずれの精度管理調査でも良好な成績を収めています。



また、本年6月には日本臨床衛生検査技師会の「品質保証施設認証」を取得しました。

これは当院の精度管理が適切に行われていることが第三者機関に認められたもので、当院の検査結果が信頼性のあるものだとして評価されたこととなります。



このように私たちは臨床検査科の基本方針でもある精度・正確・スピードをモットーに、信頼性のある正確なデータを提供し、医療サービスに貢献できるように日々努力をしております。

(臨床検査科長 村田 尚行)

# 栄養サポートチーム

## NSTについて

### 《NSTって?》

NSTとは Nutrition(栄養)Support(サポート) Team(チーム)の頭文字を取った略称です。このチームは栄養状態の維持、改善をするために多職種専門職で構成された医療チームです。

君津中央病院のNSTは平成16年11月に結成し、現在活動18年目になります。

当院のチームは外科の柳澤医師を中心に、医師(外科、救急・集中治療科、皮膚科、消化器科、リハビリテーション科、糖尿病・内分泌・代謝内科、歯科口腔外科)7名、薬剤師2名、管理栄養士4名、歯科衛生士3名、言語聴覚士1名、理学療法士1名、臨床検査技師2名、医療事務職員1名と各病棟に2~3名の看護師を配置し総勢50名が携わっています。

### 《どんな方が対象になる?》

入院すると全患者さまに対して栄養評価を行い、低栄養の患者さまの抽出をしています。

重度に低栄養の状態と判断された方について、主治医に確認しNSTで介入しています。

### 《低栄養とは?》

「低栄養」とは、からだを維持するために必要な栄養素が不足している状態のことです。

現在の飽食の時代に「低栄養」なんて!と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、高齢になると、噛む力や飲み込む力が低下し、食べる量が減ってしまったり、1日3食の食事を普通に食べていると思っても、低栄養状態になっていることがあります。

### 《低栄養になるとどうなるか?》

低栄養の状態が続くと、内臓や筋肉に蓄えていた糖質や脂質、たんぱく質がからだを維持するために使われ、からだにさまざまな影響を与えます。

免疫力や体力はさらに低下し、より病気が治りづらい状態になり、手術をしても傷がふさがらない可能性もありますし、体重が減って、筋肉が落ちてしまうこともあります。病気が治っても歩けないかもしれません。疲れやすく、元気がなくなり、噛む力、飲み込む力も低下し、今までのように美味しく食べることができなくなるかもしれません。

### 《NSTの役割》

NSTでは、患者さまに最適な方法で栄養を摂ることができるように、栄養補給の方法の提案や病気の回復や合併症の予防に有用な栄養管理の方法の提案などをおこなっています。短期の入院であっても、患者さまに適切な食事や栄養補給の方法を提案していくことは、退院後の食生活や低栄養の予防にもつながります。

(臨床栄養科 目黒 美和子)



私たちも、患者さまを栄養面からサポートできるように日々研鑽しています。

## 君津中央病院附属看護学校

### オープンキャンパス



令和4年度君津中央病院附属看護学校オープンキャンパスは、8月1日と2日の2日間に渡って開催されました。来場者数は、保護者の方を含めて164名でした。感染症流行の状況が続く中での開催でしたが、多くの方にご来場いただき、当校への入学を志す皆さまの賑やかな様子が見られる2日間となりました。

オープンキャンパスには、当校の在校生もスタッフとして参加しました。受付や案内等、様々な役割を担う学生たちが、明るい表情で来場者を迎えてくれました。当日は天候に恵まれ、晴天となりましたが、厳しい猛暑の中でスタッフとして参加した学生たちの額には汗が浮かんでいました。そのような学生たちの努力の甲斐あり、来場者向けアンケートでは、在校生に対するお褒めの言葉を多く頂戴いたしました。

「在校生の方々もすごく優しい方ばかりで安心して楽しんで見学をすることができました」

「とても優しく学校のことを教えてくださいました」

「先生方や先輩方の話し方がとても丁寧で話しやすかったです」

「広く、清潔感のある校舎で、みんな親切で雰囲気の良い学校だと思いました」

これらは来場者向けアンケートでご回答いただいた、オープンキャンパスの感想の一部です。在校生との交流会の時間を多くして欲しいとの要望の声もありました。これらの結果から、スタッフとして参加した学生たちの対応がいかに良いものであったかが分かります。

看護学校職員一同はもちろんのこと、在校生一同も、看護の道を志す新入生が多く当校に入学して下さることを望んでおります。今年度のオープンキャンパスに参加した受験生の皆さまが、いつか当校の在校生として同じようにお褒めの言葉をいただく日が来るかもしれません。

令和5年度の一般入試は、令和5年1月6日に行われます。職員・学生一同が同じ志のもと、看護の学びに励もうとする皆さまのご入学をお待ちしております。

入学試験に関するお問い合わせは  
下記までお願いします。

Eメール▶ [kimikan@mqb.biglobe.ne.jp](mailto:kimikan@mqb.biglobe.ne.jp)



電話▶ 0438-53-8767 (事務係)

受付時間▶ 土・日、祝日を除く9時~17時





お知らせ

## Information

## 健康診断のご案内

就職前に必要な健康診断(雇入時健康診断)や、労働安全衛生法に基づく健康診断(定期健康診断など)を行っています。  
団体での申込も可能です。

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp/shinryo-shokai/dock/3152-kenkousindan.html>



## 人間ドックのご案内

病気の早期発見のための人間ドックを行っています。

病気はある程度進行しないと自覚症状が現れません。人間ドックで詳しい検査を多項目行うことで、病気の早期発見や、健康診断では発見出来なかった異常が見つかることもあります。病気の早期発見、早期治療へつなげるためにも定期的な人間ドック受診をおすすめします。

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp/shinryo-shokai/dock/1505-medicalcheckup-2.html>



## 会計年度任用職員募集のお知らせ

下記の職員を募集しています。

募集人数、勤務時間、処遇等については、病院ホームページ又は人事課までお問合せください。

募集職種

- ・臨床検査技師 ・診療放射線技師 ・理学療法士 ・作業療法士 ・視能訓練士
- ・歯科衛生士 ・調理師 ・調理員 ・看護助手
- ・各事務員(診療情報管理業務、診療報酬請求業務、外来クラーク業務)

応募方法

履歴書(写真貼付)、免許証の写し(有資格者のみ)を下記宛に郵送してください。

君津中央病院事務局人事課採用担当 宛

〒292-8535 木更津市桜井 1010 番地

電話番号 0438-36-1071 (代表)

## がんサロン再開のお知らせ

がんサロンは、同じような悩みを持つがん患者さんやご家族が病気の悩みや体験などについて語り合う場です。

がんサロンでの出会いや交流を通じて、気持ちの辛さや不安が少しでも和らげられるようになればと願っております。

ぜひ一度お越しください。

日時

令和4年12月16日(金)、令和5年1月20日(金)、2月17日(金)  
毎月第3週金曜日 14時30分から16時まで

場所

4階 講堂1 ※予約は必要ありません。費用無料です。

お問い合わせ先

☎0438-36-1071(代) 担当:ソーシャルワーカー 保坂 まで

